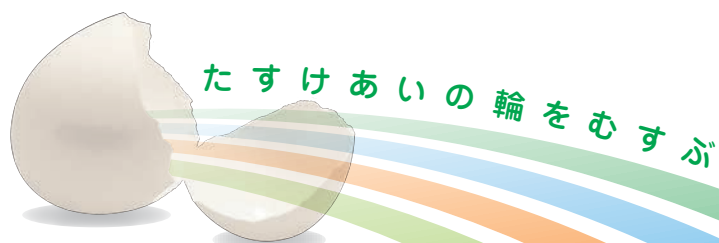


2021年版

こくみん共済 coop ガイド

みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり



たすけあいの輪をむすぶ



公式キャラクター
ビットくん

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済 coop は共済事業を行う協同組合

こくみん共済 coop は正式名称を「全国労働者共済生活協同組合連合会」といい、消費生活協同組合法にもとづき、厚生労働省の認可を受けて設立された、共済事業を行う協同組合です。「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」という理念のもと、たすけあいの仕組み「共済」を通じて、人と人との「たすけあいの輪」をむすび、「安心のネットワーク」をひろげていきます。

理念

組合員の皆さまと共有すべき
こくみん共済 coop の
変わらぬ価値観です。

みんなでたすけあい、
豊かで安心できる社会づくり

信条

理念実現に向けた
役職員の行動規範です。

組合員のこくみん共済 coop
正直なこくみん共済 coop
努力のこくみん共済 coop

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済
coop

「こくみん」とは「みんな」のこと。

多くの人と「たすけあいの輪」をむすびます。

「共済」とは「互いにたすけあう仕組み」のこと。

必要とされる保障を、一人一人の生活に合わせて提供します。

「coop」とは「協同組合（生協）」のこと。

人と人をむすび、そこに集う人たちの生活を守ります。

当会のあゆみ History



1954
年

1955
年

1957
年

1965
年

1976
年

1983
年

1995
年

● 全国統合実現

働く仲間のたすけあい。
～団体生命共済の誕生～

全国労働者共済生活
協同組合連合会の誕生。

負債はいつか返せる。
労働者の信頼は失ったら取り返せない。
～新潟大火の対応～

新潟では発足のわずか9ヵ月後に新潟大火が発生。集まった掛金を上回る共済金の支払いという困難に直面しましたが、労働組合の支援などによりお支払いすることができました。これを契機に共済事業の全国組織化への動きが起こりました。

誰もが入れる保障があれば
安心して働ける。
～働く仲間の共済始動～

1954年12月、大阪労済で火災共済事業を開始したことが労働者共済事業の始まりです。その後、新潟、富山、長野、北海道、群馬、福島でも発足し、全国へ広がることになりました。



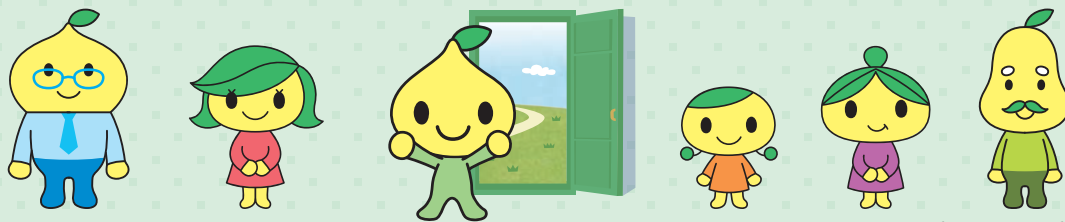
阪神・淡路
大震災の
対応。

職場で培ったたすけあいの
仕組みを多くの生活者に。
～こくみん共済の誕生～

1983年、地域組合員向けの制度として「こくみん共済」が誕生しました。年齢・性別にかかわらず、同じ保障・掛金であるこの共済は、職場で培ったたすけあいの仕組みをより多くの働く人々・生活者に広げていきました。

こくみん共済 coop (組合員) SDGs行動宣言

当会は、創立以来、組合員・協力団体・労働組合組織・協同組合組織などの仲間とともに、共済の普及と社会課題の解決に取り組み、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」を進めてきました。これは、誰一人取り残さない社会づくりをめざす、SDGsに通じるものです。格差の拡大や大規模自然災害の増加、新型コロナウイルスによる感染拡大など、取り巻く環境が厳しさと難しさを増すなか、たすけあいの輪をむすぶ私たちの役割と期待をあらためて認識し、SDGsの達成に貢献します。



●公式キャラクター ピットくん・ピットくんファミリー

① 共済を通じた安心の提供

より良い共済・サービスの提供と、一人ひとりに応じた生活保障設計を通じて、組合員と家族の安心を提供します。



④ 防災・減災の取り組み

台風や地震など大規模災害の発生から、組合員を守るため、防災・減災の普及と社会インフラづくりを進めます。



② 環境保全の取り組み

気候変動を抑制し、豊かな環境を守るため、省資源・省エネルギーに取り組みます。また、環境保護への支援を強化します。



⑤ 共創による社会づくり

人々が暮らし働く地域社会に根ざし、たすけあいの輪をむすび、誰もが活躍できる社会づくりを進めます。



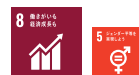
③ 子どもの健全育成の取り組み

子育て支援、交通事故抑制、健康増進の取り組みにより、貧困の連鎖に歯止めをかけ、子どもの健全な育成を進めます。



⑥ 魅力ある組織づくり

環境変化に積極的に挑戦し、あたらしい協同の仕組みを創造する魅力ある組織づくりを進めます。



1998年

2007年

2011年

2019年

2020年

2021年

● 創立50周年
理念の制定

● 新ブランドスタート
たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済
coop

● SDGs行動宣言

自然災害に対する 公助に向けて。

～被災者生活再建支援法成立～

日本生協連、連合、兵庫県、協力団体などとともに「自然災害に対する国民的保障制度を求める国民会議」を発足。約2,500万人の署名を集めて政府に働きかけた結果、被災者生活再建支援法が成立しました。



被災された組合員に 寄り添い続ける。

～東日本大震災の対応～

2011年3月11日、東日本大震災が発生。のべ3万5,685名の職員を動員し「最後のお一人まで」を合言葉に、被災者の生活再建に向けて総力をあげて取り組みました。お支払いした共済金・見舞金は約1,289億円にのびます。



豊かで安心できる 社会に向けて。

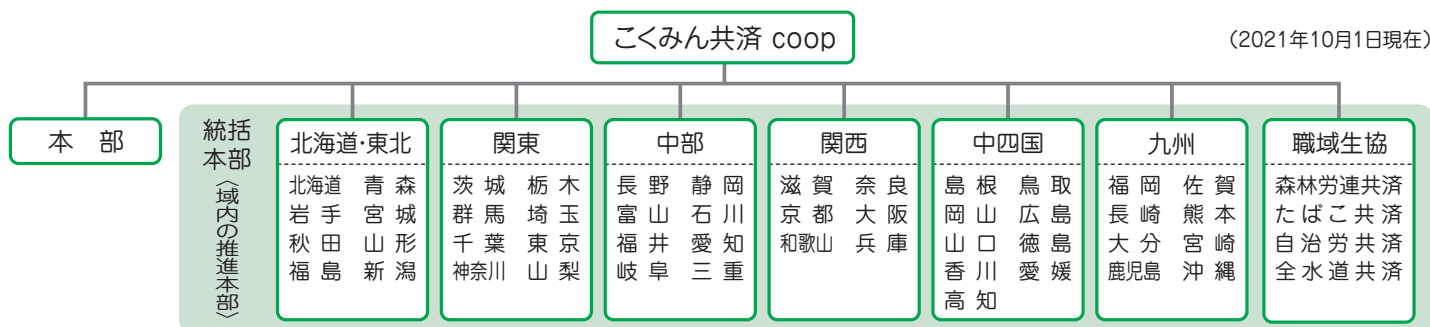
～たすけあいの輪を
むすぶ～

豊かで安心できる社会に向け、もっと多くの人と「たすけあいの輪」をむすび、「安心のネットワーク」をひろげていくため、共済だけでなく、私たちにできることに取り組みます。



こくみん共済 coop の組織

こくみん共済 coop（以下「当会」といいます）は、58会員によって構成される生活協同組合の連合会です。この58会員のうち51会員は、単一事業体として運営を行っており、本部と7統括本部で構成されています。



組合員と運営組織

組合員が職場や地域において、それぞれの運営組織に参加しながら、当会の運営を支えています。

■組合員

出資金をお支払いいただければ、どなたでも当会の会員共済生協の組合員資格が得られ、共済事業の利用ができます。

■職場

職場では、労働組合や事業所を「協力団体」という形で登録し、その組合員や従業員に当会や共済の紹介など、各種活動を行っていただいています。各協力団体には、当会の職員が訪問し、共済に関する手続きなどを行っています。

■地域

地域では、主に生活者を対象に、当会に共感していただいた「地域推進員」の方々が中心となって、当会や共済の紹介など、各種活動を行っていただいています。また、全国約200カ所の共済ショップなどの窓口、ホームページやお客様サービスセンター（電話）では、共済に関する手続きなどが行えます。

■地区運営組織

協力団体や推進員が中心となって、一定のエリアごとに地区運営組織を設置し、当会への意見反映が行われています。設置状況は、都道府県によって異なります。

機関および運営

組合員の声を事業と運動に反映することを第一として、機関運営を行っています。

■総会

総会は、当会の最高意思決定機関です。会員単位に代議員を選出し、運営します。通常総会は、毎事業年度（6月～翌年5月末日）終了の日から3ヵ月以内（例年8月末）に開催します。また、臨時総会は必要な時に随時開催します。

■理事会

理事会は、当会の運営および業務の執行に関する重要事項を審議決定します。2ヵ月に1回または随時開催します。

■監事

監事は、理事の職務の執行を監査します。また、監査に関する業務の運営および監査の実効性の確保のために、すべての監事をもって監事会を組織しています。



こくみん共済 coop 会館

こくみん共済 coop グループの構成

こくみん共済 coop

（全国労働者共済生活協同組合連合会）

基本三法人

日本再共済連

（日本再共済生活協同組合連合会）

全労済協会

（一般財団法人 全国勤労者福祉・共済振興協会）

組織の概要

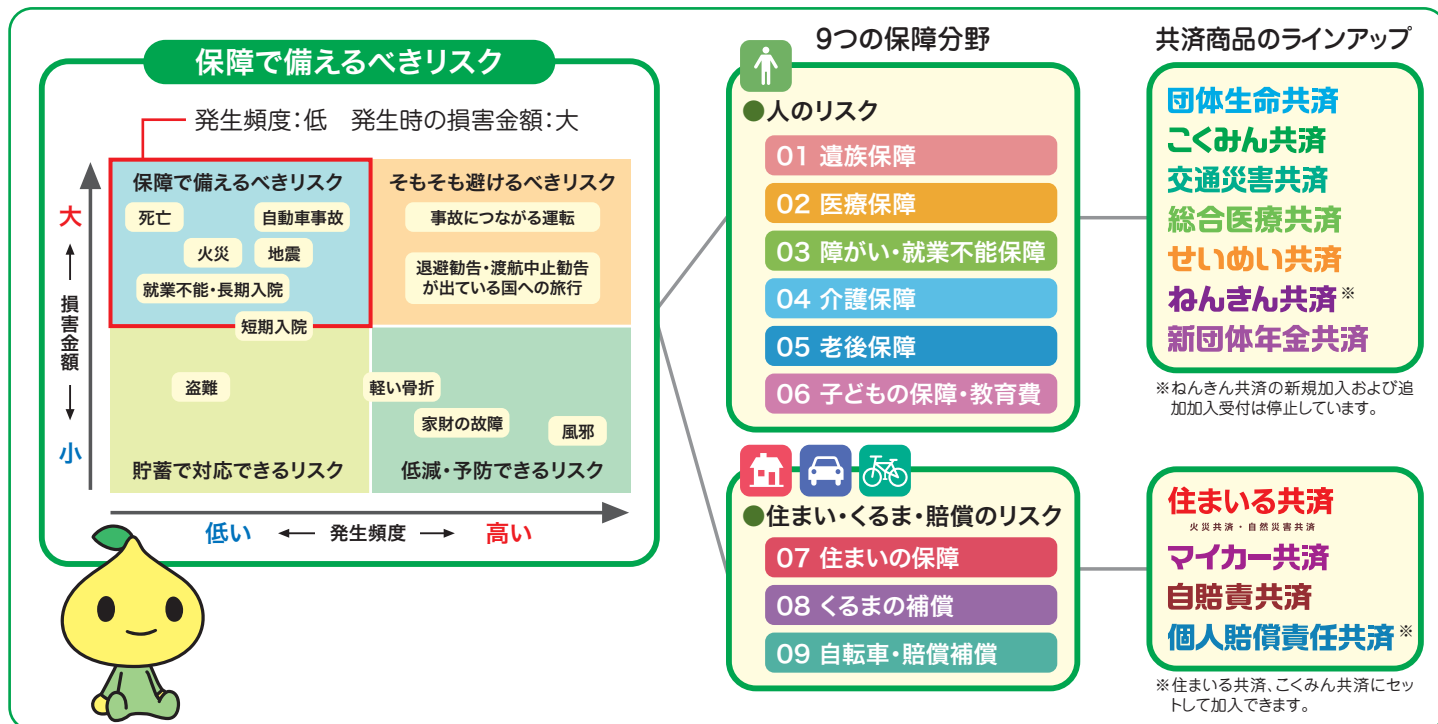
（2021年5月31日現在）

名 称	全国労働者共済生活協同組合連合会 （略称：全労済 愛称：こくみん共済 coop）
創 立	1957年9月29日
所 在 地	〒151-8571 東京都渋谷区代々木2-12-10
会 員 数	58会員
常勤役職員数	3,553名 ※他団体出向者含む
パートナー職員数	1,371名

2 生活保障設計と共済のラインアップ

当会では、病気や事故など「万一」の場合の経済的リスクに備えるための保障について、貯蓄と保障の役割を踏まえ、今のライフスタイルや将来のライフプランから、そのリスクを最小限にするために最適な保障を考える「生活保障設計」に取り組んでいます。

(1) リスクに備える保障分野と共済のラインアップ



各共済の契約件数は2,977万件となりました。

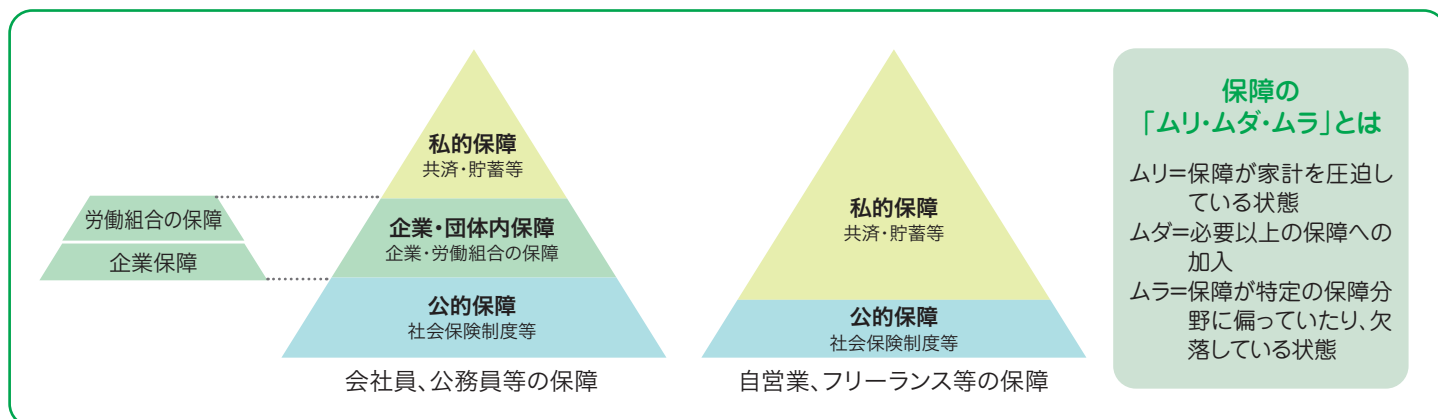
数値(2021年5月31日現在)は、四捨五入して表記しています。

人	団体生命共済	519万件	住まい	火災共済※2	404万件	その他	火災再共済	17万件
	こくみん共済	544万件		自然災害共済※2	218万件		慶弔再共済	441万件
	団体生命移行共済	7万件		マイカー共済	218万件		受託事業	122万件
	交通災害共済	264万件	くるま	自賠償共済	26万件	契約件数 合計 2,977 万件		
	個人長期生命共済※1	76万件						
	終身生命共済※1	44万件						
	ねんきん共済	79万件						
	新団体年金共済等							

※1 総合医療共済、せいめい共済
※2 住みいる共済

(2) 最適な保障について

就業形態やライフスタイルなどに応じた保障分野ごとに、公的保障や企業・団体内保障を把握したうえで私的保障を考えれば、「ムリ・ムダ・ムラ」のない最適な保障が実現します。当会は、最適な保障について組合員の皆さまとともに考え、一人一人にあった「豊かで安心できる暮らし」の実現を目指します。



3 2020年度 数字でみるこくみん共済 coop

本頁の数値は、四捨五入して表記しています。

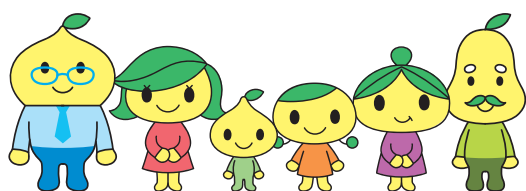
契 約 高

772兆円

■事業の成果（契約状況）

年度目標到達率

契 約 高	772兆円	100.0%
契 約 件 数	2,977万件	97.8%
契 約 口 数	39.6億口	100.7%
受入共済掛金	5,603億円	100.1%



支 払 共 済 金

3,145億円

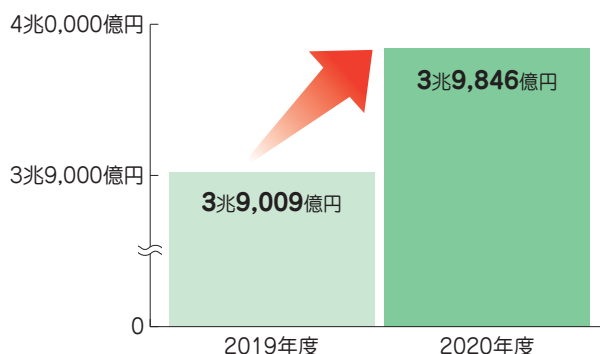
■支払共済金の内訳

火 災 共 済 184億円	個人長期生命共済 366億円
自然災害共済 187億円	ねんきん共済 新団体年金共済等 846億円
交通災害共済 34億円	終身生命共済 160億円
マイカー共済 460億円	個人賠償責任共済 4億円
自賠責共済 17億円	火災再共済 1億円
団体生命共済 349億円	慶弔再共済 36億円
こくみん共済 (団体生命移行共済含む) 502億円	自動車再共済 1億円

支払共済金 合計**3,145億円**

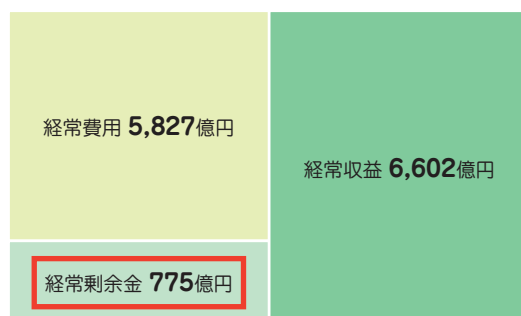
総 資 産

3兆9,846億円



経 常 剰 余 金

775億円



契 約 者 割 戻 金

344億円

■契約者割戻金の内訳

団体生命共済 164億円	新団体年金共済 3億円
こくみん共済 (短期) 127億円	終身生命共済 3億円
個人長期生命共済 48億円	

契約者割戻金 合計**344億円**

支 払 余 力 比 率

2,117.3%

摘 要	2019年度	2020年度	増 減
支払余力総額 (A)	1兆3,195億円	1兆3,924億円	729億円
リスクの合計額 (B)	1,326億円	1,315億円	△10億円
支払余力比率 (A) / {(B) × (1/2)} × 100	1,990.9%	2,117.3%	126.5P

(注1) 消費生活協同組合法施行規則ならびに同法施行規程にもとづいて算出しています。
(注2) 生命共済事業と損害共済事業の両方を実施しているため、生命保険会社または損害保険会社のソルベンシー・マージン比率と単純に比較できません。

4 社会的取り組み

※取り組みを通じてSDGsのどのゴールに貢献したかをアイコンを使って紹介しています。

防災・減災の取り組み



もしもの経済的な備え（共済）だけでなく、もしもの前（防災・減災）と後（再建）の備えを自助・共助・公助の観点で強化し、安心を支えるセーフティネットづくりに取り組んでいます。

1. これからの防災・減災プロジェクト

東日本大震災から10年が経過し、これまでの災害対応のなかで得た教訓と経験をもとに、さらなる防災・減災の普及と、多くの方々との安心のセーフティネットづくりを進めていくため、「これからの防災・減災プロジェクト」をスタートしました。



2. 災害用ブルーシートの寄贈

自然災害が多発するなか、住宅屋根被害の応急処置用ブルーシートが不足していました。生活再建に少しでもお役立ちができればとの思いから、協同組合の仲間であるコープ共済連と協力し、災害対策用ブルーシート13,200枚を全国知事会に寄贈しました。

環境保全の取り組み



豊かな自然環境や生物を守るため、省エネルギー・緑化活動に積極的に取り組み、次世代に引き継いでいきます。

1. 「社会貢献付 エコ住宅専用 住まいる共済」による寄付

2008年より「社会貢献付 エコ住宅専用 住まいる共済」の契約状況、決算実績に応じて、環境活動団体への寄付を実施しています。寄付先の団体とは、共通の課題解決に向けて、共創活動を進めています。

2. ESG運用の実施

資産運用方針にもとづき、ESG運用（環境・社会・企業統治に配慮している発行体を重視・選別して行う運用）を実施しています。



エコ住宅専用 住まいる共済
寄付先団体（公財）日本環境協会との共創活動
こどもエコクラブ全国フェスティバル

子どもの健全育成の取り組み



子どもの健康増進や子育て支援等を通して、将来を担う子どもたちの健全な成長を支えています。

1. 「7才の交通安全プロジェクト」

「未来ある子どもたちを交通事故から守りたい」という思いで、歩行中の交通事故死傷者数が多い7才児を中心に、子どもたちを交通事故から守る取り組みを進めています。

2. 「こどもの成長応援プロジェクト」

子どもたちの体力の二極化、体力低下に着目し、子どもたちのすこやかな成長とたすけあいの気持ちを未来につなぐための取り組みを進めています。



7才の交通安全プロジェクト
金沢大学との共同研究
デジタル標識の実証実験の様子

たすけあいの普及・促進～#今できるたすけあいプロジェクト～



新型コロナウイルス感染症の拡大により社会不安が広がるなかでも、人と人との心のふれあいや「たすけあい」を分かち合い、地域社会を支える方々を支援する取り組みを展開しました。



全国ネットワーク (2021年10月1日現在)

本部

こくみん共済 coop

渋谷区代々木2-12-10
03-3299-0161

職域生協

職域生協統括本部
森林労連共済推進本部
たばこ共済推進本部
自治労共済推進本部
全水道共済推進本部

中 四 国

中四国統括本部
島根推進本部 鳥取推進本部
岡山推進本部 広島推進本部
山口推進本部 徳島推進本部
香川推進本部 愛媛推進本部
高知推進本部

関 西

関西統括本部
滋賀推進本部 奈良推進本部
京都推進本部 大阪推進本部
和歌山推進本部 兵庫推進本部

北海道・東北

北海道・東北統括本部
北海道推進本部 青森推進本部
岩手推進本部 宮城推進本部
秋田推進本部 山形推進本部
福島推進本部 新潟推進本部

関 東

関東統括本部
茨城推進本部 栃木推進本部
群馬推進本部 埼玉推進本部
千葉推進本部 東京推進本部
神奈川推進本部 山梨推進本部

中 部

中部統括本部
長野推進本部 静岡推進本部
富山推進本部 石川推進本部
福井推進本部 愛知推進本部
岐阜推進本部 三重推進本部

九 州

九州統括本部
福岡推進本部 佐賀推進本部
長崎推進本部 熊本推進本部
大分推進本部 宮崎推進本部
鹿児島推進本部 沖縄推進本部

全国約200カ所の
最寄りの共済ショップは
ホームページから検索できます。

共済ショップ

検索

各種お問い合わせ・連絡窓口

■資料のご請求、ご契約内容の確認や変更などの各種
お手続きに関するお問い合わせ・ご相談

■病気やけが、住宅損害、自動車事故にあわれたとき

お電話

お客様サービスセンター

☎0120-00-6031

受付時間 平日・土曜9:00~17:00
(日曜・祝日・年末年始はお休み)*

ご来店

都道府県推進本部・支所・共済ショップ
などの窓口

WEB

ホームページアドレス

<https://www.zenrosai.coop>

■各種共済商品の資料請求
■住所・電話番号変更
■振替口座変更届のご請求 など

病気やけがに関する
共済金請求受付ダイヤル

住宅損害に関する
事故受付専用ダイヤル

マイカー共済の
事故受付専用ダイヤル

こくみん共済 coop 共済金センター

オペレーター
による受付

☎0120-580-699

受付時間 平日・土曜9:00~17:00
(日曜・祝日・年末年始はお休み)*

音声自動応答
による受付

☎0120-549-044

受付時間 24時間・365日

※「音声自動応答による受付」は、「入院」「通院」「手術」の共済金請求の場合にご利用いただけます。

住宅損害受付センター

☎0120-131-459

受付時間 24時間・365日

マイカー共済事故受付センター

☎0120-0889-24

受付時間 24時間・365日

*新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、お電話でのご相談について当面の間、受付時間を変更しております。なお、各種お問い合わせはホームページでも受付しておりますのでご利用ください。

たすけあいから生まれた保障の生協です

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

こくみん共済
coop

全国労働者共済生活協同組合連合会

〒151-8571
東京都渋谷区代々木2-12-10
☎03-3299-0161 (代)